

各務原市新総合体育館 整備に関する市民説明会

令和3年1月23日（土）、1月26日（火）

産業文化センター1階 あすかホール

各務原市教育委員会事務局 教育施設整備推進室

新総合体育館を整備する背景

- 現在の総合体育館は・・・
 - メインアリーナや観客席等にエアコンがない
 - 観客席や駐車場が少なく、大会などの際に不足する
 - バスケットボール等、コートが規格に適合していない
- 市スポーツ協会や市議会スポーツ振興議員連盟から要望がある

新総合体育館整備基本構想の策定

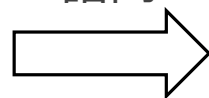
➤ 新総合体育館整備事業をすすめるため、2つの条例を制定 (令和2年3月市議会)

「各務原市新総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会条例」

「各務原市新総合体育館整備基金条例」

各務原市教育委員会

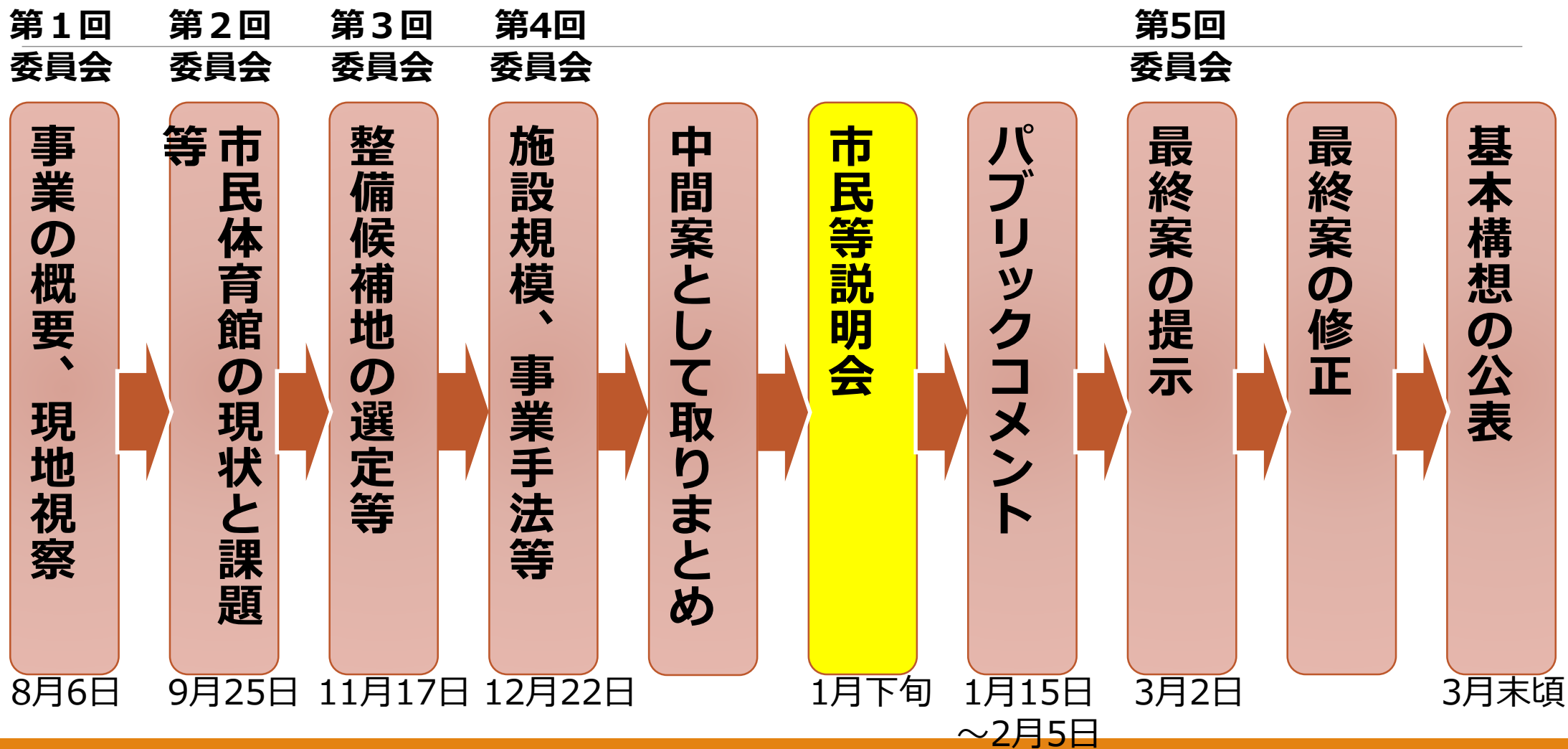
諮問



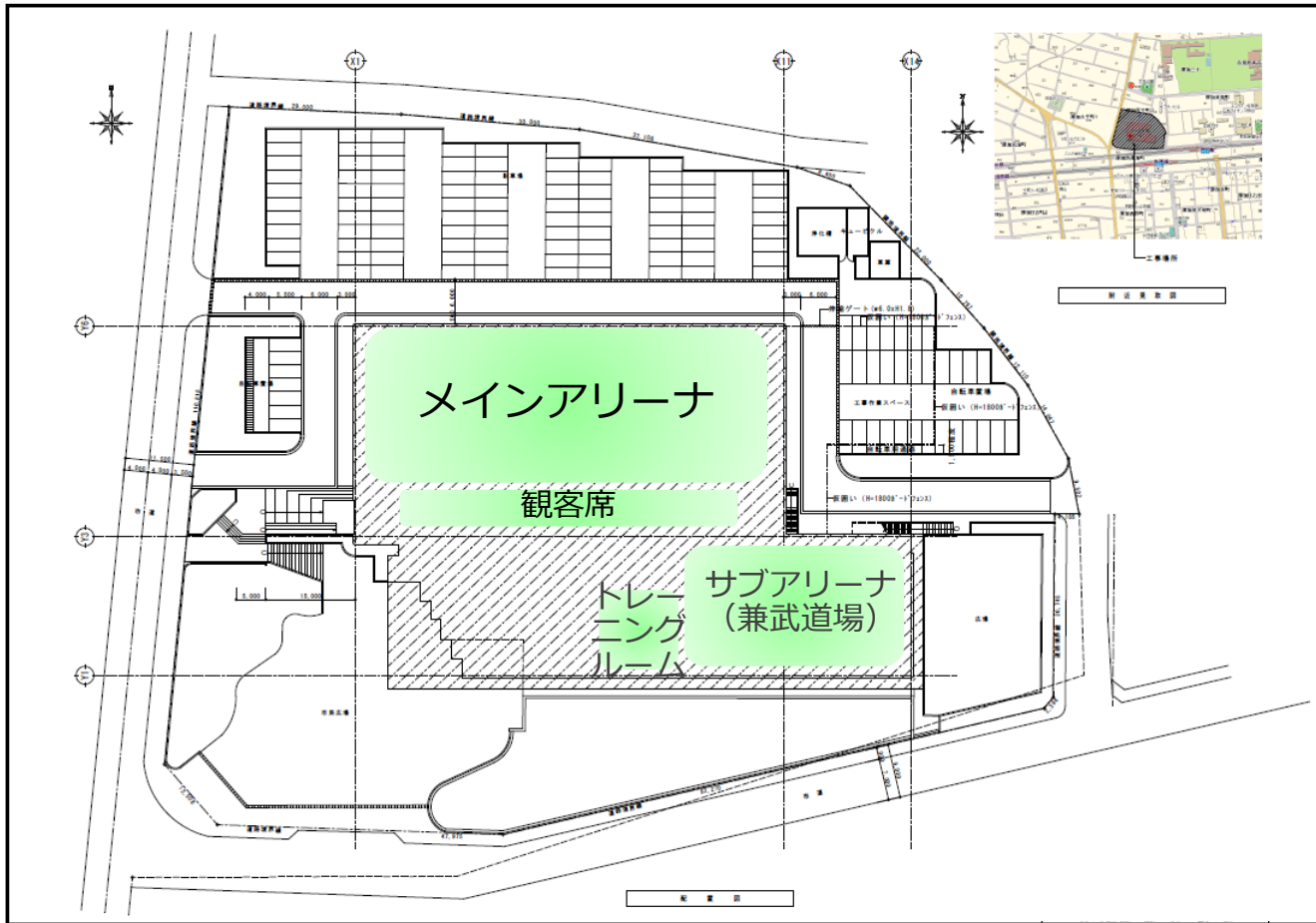
各務原市新総合体育館建設
基本構想・基本計画策定委員会

- ・大学教授 2名
- ・スポーツ協会 代表
- ・スポーツ少年団 代表
- ・体育振興協会 代表
- ・スポーツ推進委員会 代表
- ・自治会 代表
- ・校長 代表
- ・市民公募 2名

基本構想策定の流れ



現総合体育館の概要②



【敷地面積】 16,135m²

【延床面積】 5,757m²

【駐車場】 140台

【設備内容】 メインアリーナ、サブアリーナ（武道場）、トレーニングルーム、更衣室、シャワールーム、観客席288席、会議室等

主な競技コート	面数
ハンドボール	2面
バスケットボール	4面
バレーボール	4面
テニス	2面
バドミントン	12面

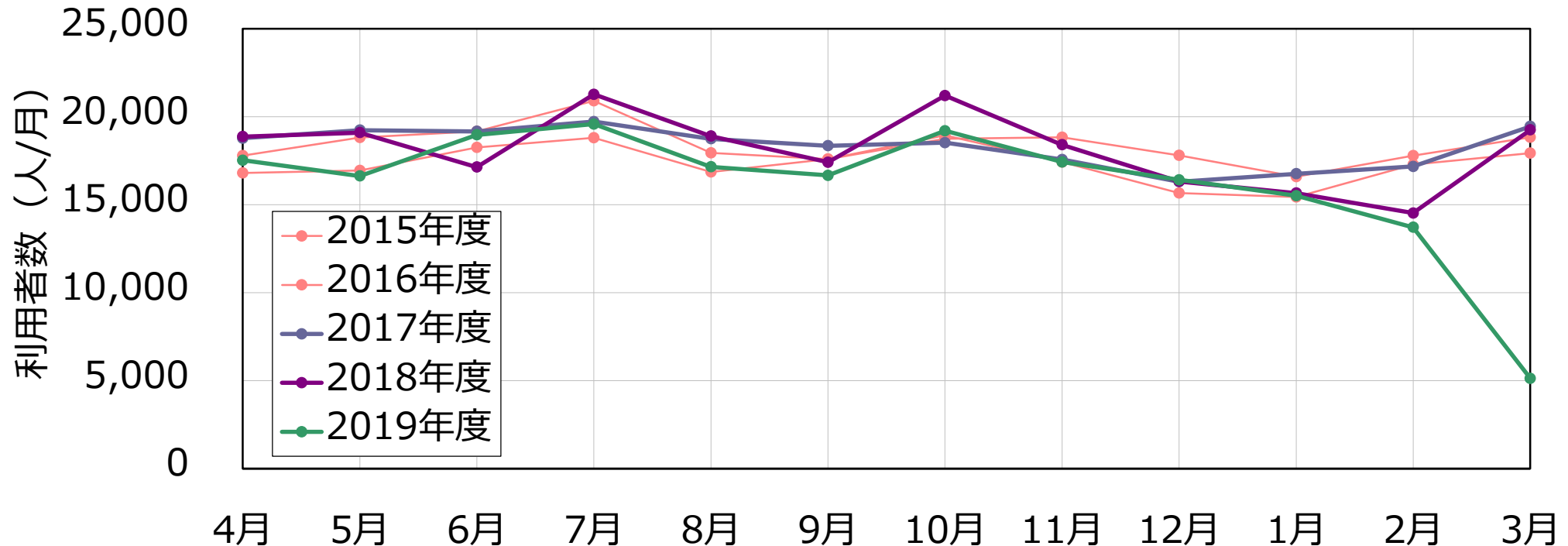
現総合体育館の概要③

体育館	人口	延べ床面積	諸室の面積と延べ床面積に占める割合			
	オープン		スポーツ系	非スポーツ系	管理部	共用部
各務原市 現総合体育館	約147,000人 1983年度 (※オープン時 約107,000人)	約5,757m ²	3,147m ² 55%	322m ² 6%	456m ² 8%	1,832m ² 32%
犬山市体育館 (エナジーサポートアリーナ)	約73,000人 2016年度	約6,500 m ²	3,431m ² 53%	391m ² 6%	714m ² 11%	1,964m ² 30%
袋井市総合体育館 (さわやかアリーナ)	約88,000人 2020年度	約7,769 m ² (付帯施設含む)	4,553m ² 59%	470m ² 6%	771m ² 10%	1,975m ² 25%
江南市体育館 (KTXアリーナ)	約100,000人 2018年度	約8,300m ²	4,491m ² 54%	332m ² 4%	1,051m ² 13%	2,426m ² 29%
長浜市北部地域 総合体育館 (長浜伊香ツインアリーナ)	約117,000人 2020年度	約5,580m ²	3,617m ² 65%	256m ² 5%	342m ² 6%	1,365m ² 24%

現総合体育館の概要④

現総合体育館の利用者数

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
207,937人	220,840人	219,778人	218,054人	193,924人



新総合体育館のニーズ調査

市民アンケート
1,259通/3,043人
(回収率41.5%)

- ・新総合体育館のあり方 ⇒ 「災害時の一時避難や防災活動拠点」、「市民スポーツの場」
- ・新総合体育館の立地条件 ⇒ 「公共交通の利便性」、「車のアクセス」
- ・あったら良いスポーツ施設 ⇒ 「トレーニング室」、「多目的運動室」
- ・あったら良い付属設備 ⇒ 「更衣室」、「シャワー室」、「防災備蓄倉庫」

スポーツ協会アンケート
31団体/39団体
(回収率79.5%)

- ・現総合体育館を利用する10団体は、いずれも新総合体育館を「利用する」意向
- ・新総合体育館に期待する機能 ⇒ 「地域スポーツの場」、「競技スポーツの場」、「大会開会式等の場」、「会議や研修場」
- ・バスケットボール、フットサルに必要なコート確保を希望（サイズ・面数）

事業者アンケート
3通/7通
(回収率42.9%)

- ・「新総合体育館の整備及び利活用」、「現総合体育館の利活用」への参画意欲を確認

新総合体育館整備の課題

- 現総合体育館で不十分な機能の充足
エアコン、駐車場
- 競技コートの規格に対応した施設整備
規格に適合したコート、面数の確保、大会等を踏まえた観客席
- 多様なニーズへの対応
健康づくり、介護予防運動、文化活動にも
- 防災拠点として
拠点として活用できる立地、防災機能の充実
- 効率的な整備・管理運営
補助金等の財源確保、民間の力の活用を検討

新総合体育館の整備基本方針

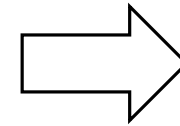
- **誰もが快適に使用できる**
子ども・大人、高齢者や障がいのある方など隔てなく
個人・団体、スポーツを「する」「みる」「ささえる」
- **健康づくりを楽しむ**
スポーツ、レクリエーション、楽しみながら日常的に体を動かす
- **にぎわいと交流の拠点**
大会、イベントなど、現総合体育館で対応できなかった競技スポーツ
- **安全安心の拠点**
市民の安全安心のよりどころ

新総合体育館の規模

※ 基本構想時点

➤ メインアリーナ・サブアリーナ

主な競技コート	現総合体育館
ハンドボール	2面
バスケットボール	4面
バレーボール	4面
テニス	2面
バドミントン	12面



新総合体育館
2面 (メイン1面+サブ1面)
4面 (メイン3面+サブ1面)
6面 (メイン4面+サブ2面)
5面 (メイン4面+サブ1面)
25面 (メイン18面+サブ7面)

➤ 武道場

➤ 観客席、管理部(器具庫や事務室等)、共用部(トイレや通路等)

⇒ 他施設での事例から、全体の規模にあうように割合で計算して想定

※ 観客席は、メインアリーナ 1,200席程度、サブアリーナ 530席程度

※ 大規模イベントの際にはパイプ椅子など仮設の臨時席により対応

(メインアリーナにバスケットボールコート一面の場合、周囲に2,000席程度確保)

分類	施設	想定床面積
スポーツ系	メインアリーナ	約3,600m ²
	サブアリーナ	約1,585m ²
	武道場	約400m ²
	トレーニングルーム	約850m ²
	ランニングコース・ウォーキングコース	約670m ²
	多目的室	約280m ²
	キッズルーム	約100m ²
非スポーツ系	会議室・研修室	約150m ²
管理部	器具庫や事務室等	約1,230m ²
共用部	トイレや通路等	約3,450m ²
総面積		約12,300m²

- 要望や他自治体事例などを踏まえ積み上げを行うと12,300m²程度
- もう少し大きいサイズが必要という意見も

事業費の想定

➤ 他自治体の実績金額から事業費を算定

	延床面積	概算工事費	概算維持管理費（※実質負担額）
A案	約19,000㎡～20,000㎡程度	約112億円～118億円程度	約1億6千万円～1億7千万円程度
B案	約12,000㎡～13,000㎡程度	約68億円～73億7千万円程度	約1億円～1億1千万円程度
C案	約9,000㎡～10,000㎡程度	約45億7千万円～50億8千万円程度	約8千万円～9千万円程度

※実質負担額とは、維持管理費にかかる費用から利用料収入をひいた実質的に市の負担となる額のこと

※他自治体の体育館活用事例を踏まえると、1,000人以上を収容する大会やイベントを開催するためには、B案以上の規模が望ましいと考えられる

新総合体育館の規模

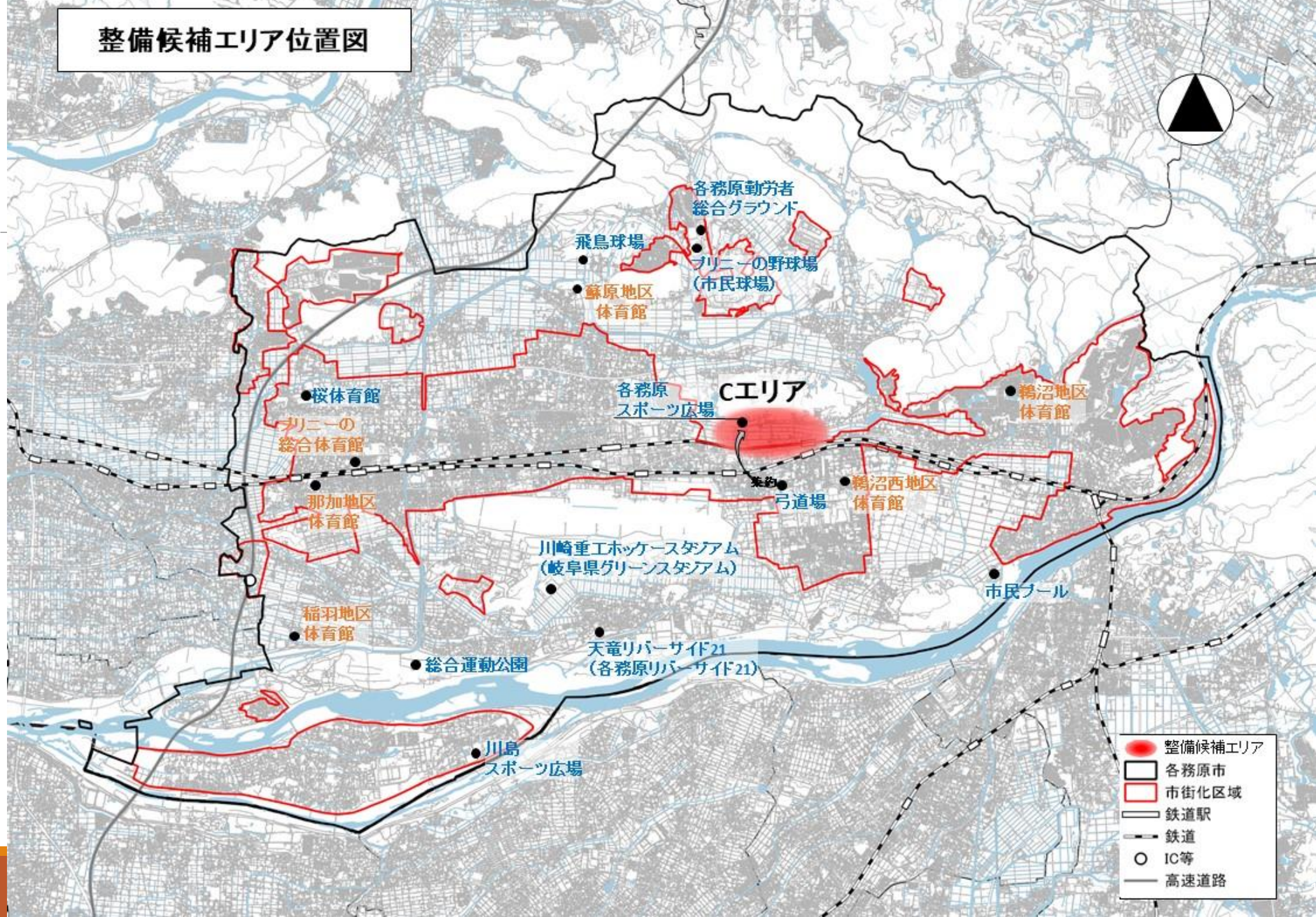
- 基本構想では、新総合体育館の規模を約12,000～15,000 m²程度として想定
- 今後、利用者の規模や年齢層、用途等を整理し、また、他自治体の事例を参考にしつつ、必要な設備や規模を調整

候補エリアの選定②

➤ 客観的な指標を設定し各エリアを評価 ⇒ **Cエリアを選定**

評価視点	選定指標	Aエリア (蘇原赤羽根町付近)	Bエリア (各務おがせ町付近)	Cエリア (各務山の前町付近)	Dエリア (鵜沼真名越町付近)
拠点性	将来的な拡張余地の有無	5点	5点	5点	5点
	近隣施設との相乗効果	1点	1点	5点	1点
	商業施設との近接性	5点	3点	5点	5点
交通 利便性	鉄道駅からの距離	1点	1点	5点	5点
	ICからのアクセス	5点	1点	3点	3点
防災性	災害危険エリアとの離隔距離	5点	1点	5点	1点
	緊急輸送道路との近接性	3点	3点	3点	3点
	人口密集地との近接性	3点	1点	3点	3点
経済性	アクセス道路の整備	1点	3点	5点	5点
	建物等補償物件の有無	5点	5点	3点	5点
合計点数(得点率)		34点(68%)	24点(48%)	42点(84%)	36点(72%)

整備候補エリア位置図



整備事業スケジュール

※ 一般的な事例を参考にした現時点での想定スケジュール
(今後精査し、変更する可能性がある)

手法	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
従来方式	基本計画	プロポーザル準備	基本設計	実施設計	発注	建設	準備期間	供用開始		
DB方式	基本計画	アドバイザリ選定	公募資料、仕様作成	提案期間	審査契約	基本設計・実施設計	建設	準備期間	供用開始	
DBO方式	基本計画	アドバイザリ選定	公募資料仕様作成	提案期間	審査	契約	基本設計・実施設計	建設	準備期間	供用開始
PFI方式	基本計画 導入可能性調査	アドバイザリ選定	公募資料仕様作成	提案期間	審査	契約	設計	建設	準備期間	供用開始

今後の課題

- 敷地の選定
- 施設計画・運営に係る検討
 - 施設構成の再検討、床面積の設定、費用削減と収入増の工夫等
- 駐車場のあり方
- 事業手法の検討
 - 民間ノウハウの活用
- 財源確保（補助金など）
- まちづくりの視点（体育館の外構を公園などに）

ご清聴ありがとうございました